



日立市・周辺の中小84社

再生エネで研究組織

技術を結集 共同受注

ものづくり産業 活性化協議会 きょう初会合

東日本

【水戸】日立商工会議所(茨城県日立市)工業部会の企業を中心とする84社が、再生可能エネルギーや環境負荷の低減につながる分野で共同研究に乗り出す。各社の技術や知識を結集することで、東日本大震災を機に高まる新エネルギー分野で技術開発し、共同受注を目指す。16日に日立市内で初会合を開き、活動方針と計画を説明。傘下に設置するグループへの所属を参加企業から募る。

新組織の名称は「日立市ものづくり産業活性化協議会(仮称)」で、事務局を日立商工会議所内に置く。名称や組織のトップなどを16日に決定するほか、傘下に「発電システム研究部」を「省エネ・創エネ機器研究部会」を「3R研究部会」を設置する見通し。

日立市ものづくり産業活性化協議会(仮称)	
日立商工会議所工業部会の会員企業を中心とする中小企業など84社で構成(10月16日に初会合)	
設置を検討する部会と開発グループ(2013年1月までに活動開始)	
①発電システム研究部会	・小型水力発電システム
	・小型非常用発電システム
②省エネ・創エネ機器研究部会	・非常用含むLED機器
	・蓄電システム
③3R研究部会	

は、小型水力発電システムの開発グループと小型非常用発電システムの開発グループを下部組織に置き、当面、吉野電業(日立市)の吉野邦彦社長、S.P.エンジニアリング(同)の泉富栄社長が先導役としてまとめる見通し。

と蓄電システムの開発グループを設け、大友製作所(日立市)の友部英一社長が両グループを当面、先導する見通し。蓄電システムの開発には中小の支援機関の日立地区産業支援センター(同)や茨城大学の産学交流

組織「ひたちものづくりサロン」(友部英一会長)からも助言を受ける。3R研究部会は生コンクリート事業者4社が環境負荷軽減につながる生コンの製造に向けて共同開発していく。

S.P.エンジニアリング株式会社
〒317-0074 茨城県日立市旭町2丁目2番11号
TEL 0294(24)7555(代)

代表取締役 泉 富栄

